

教科書からたどる教育の歴史

令和6年9月21日(土)～11月4日(月祝)



明治・大正そして昭和へ

- 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：月曜日（9/23・10/14・11/4は祝日のため開館し翌火曜日が休館）
毎月最終木曜日（9/26・10/31）
入館料：無料
主催：泉佐野市立歴史館いずみさの
指定管理者：公益財団法人大阪府文化財センター
後援：歴史街道推進協議会

教科書からたどる教育の歴史

— 明治・大正そして昭和へ —

近代学校教育はどのように始まったか 教育はどのような歴史をたどってきたか

皆さんは教科書にどのような思い出がありますか。教科書は、教科を学ぶときに主たる教材として使われる図書ですが、教育のあり方を知ることができる資料でもあるのです。

明治時代に入ると、近代化を目指す政府は教育の普及が日本の発展に必要と考え、学校教育の制度を

整備していきます。その中で、教科書も検定教科書制度、国定教科書制度と変化していきました。

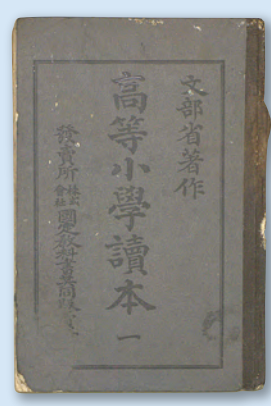
本企画展では、当館が所蔵する多数の教科書の中から、近代教育の歴史をたどれる資料を選びご覧いただけます。あわせて江戸時代の教科書もご紹介いたします。



● 小学読本 二



● 高等小学読書教本 卷四



● 高等小学読本 一

表面・裏面すべて当館蔵

関連行事

【関連講座】

「文字の教育－識字層の広がり－」 講師：梶田航平(当館学芸員)
日時 10月20日(日)午後1時30分～午後3時(午後1時から受付)
場所 当館 地階研究室
定員 40名(事前申込制・聴講無料)
申込 令和6年9月21日(土)以降に電話または窓口で申込

【学芸員による展示解説】

日時 9月28日(土)、10月12日(土)
時間 午後1時30分～(約30分)
定員 30名(当日先着順)
申込 不要



寺子読書千字文

展示品紹介

- 『寺子読書千字文』 寛延2年(1749)
- 『市郡制法』 明治4年(1871)
- 『小学読本 二』 明治6年(1873)
- 『高等小学読書教本 卷四』 明治29年(1896)
- 『高等小学読本 一』 明治38年(1905)
- 『児童通信簿』 昭和9年(1934)



市郡制法



児童通信簿

レイクアルスタープラザ・カワサキ



歴史館いずみさの

(指定管理者：公益財団法人大阪府文化財センター)

〒598-0005 泉佐野市市場東1丁目2番1号

TEL：072-469-7140

アクセス：南海本線「泉佐野」駅下車 1.6km(徒歩約20分)

JR阪和線「熊取」駅下車 1.9km(徒歩約25分)

